

## 2016 年度 小委員会活動成果報告

(2017 年 3 月 28 日作成)

|                              |   |   |
|------------------------------|---|---|
| 小委員会名                        | RILEM 小委員会  | 主 査 名：野口貴文<br>就任年月：2013 年 4 月   |
| 所属本委員会<br>(所属運営委員会)          | 材料施工委員会   | 委員長名：早川光敬   |
| 設 置 期 間                      | 2013 年 4 月 ～ 2017 年 3 月   |   |
| 設 置 目 的<br>各年度活動計画<br>(箇条書き) | <p>設置目的：RILEM における活動に対する情報収集を行い、建築材料および試験方法に関する国際的な研究動向を把握し、国内の研究者・技術者に周知することによって、我が国の当該分野の研究の発展に寄与するとともに、RILEM を通じて日本建築学会の研究活動を国際的に伝達・普及するための活動を行う。</p> <p>活動計画<br/>初年度：RILEM Week および RILEM TAC、DAC および総会などに出席し、情報収集を行い会員に紹介するとともに、RILEM を通じて日本建築学会の活動を世界に発信する。また、RILEMTC-FRS “Fire Resistance of Concrete Structures Repaired with Polymer Cement Mortar” の設置準備を行う。<br/>2 年度：TC 活動を展開する。<br/>3 年度：同上<br/>4 年度：同上</p> |   |
| 委員構成<br>(委員名 (所属))           | <p>委員公募の有無：無</p> <p>主査：野口貴文 (東京大学)、幹事：今本啓一 (東京理科大学)、委員：石川嘉崇 (電源開発)、兼松学 (東京理科大学)、閑田徹志 (鹿島建設)、下澤和幸 (日本建築総合試験所) 白井篤 (東京家政学院大学)、道正泰弘 (名城大学)、中島史郎 (建築研究所)、西脇智也 (東北大学)、濱崎仁 (芝浦工業大学)、細川佳史 (太平洋セメント)、三橋博三 (東北大学)、武藤正樹 (建築研究所、2015 年度まで)、宮内博之 (建築研究所、2016 年度より)、本橋健司 (芝浦工業大学)</p>  |   |
| 設置 WG<br>(WG 名：目的)           | RILEM TC-FRS “Fire resistance of concrete structures repaired with polymer cement mortar” 国内対応 WG：日本主導 TC の活動を行い、技術の現状を纏める。   |   |
| 2016 年度予算                    | 120,000 円   | ホームページ公開の有無：有<br>委員会 HP アドレス： <a href="http://news-sv.aij.or.jp/zairyous3/">http://news-sv.aij.or.jp/zairyous3/</a> |

| 項 目   | 自己評価  |
|---|---|
| 委員会開催数  | 5 回 (年度内計画および WG を含む)   |
| 刊行物<br>(シンポジウム資料等は除く)                         |   |
| 講習会   |   |
| 催し物<br>(シンポジウム・セミナー等)<br>*能力開発支援事業委員会<br>承認企画 |   |
| 大会研究集会  |   |
| 対外的意見表明・パブリックコメント等                            |   |
| 目標の達成度<br>(当初の活動計画と得られた成果との関係)                | <p>1. 「ポリマーセメントモルタルを用いて補修された RC 部材の耐火性に関する技術の現状」の第二次原稿を作成するとともに、Round-robin Test の準備を進めた。</p> <p>2. 総会に出席し、TAC および DAC に関する情報を収集した。</p> |
| 委員会活動の問題点・課題                                  | 特になし  |